

令和元年度決算（自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

(1) 貸借対照表（令和2年3月31日現在）

（単位 円）

資 産 の 部			負 債 の 部		
区分	科 目	金 額	区分	科 目	金 額
流動 資 産	1 現金・預金	111,602,443	流動 負 債	1 1年以内返済 の長期借入金	162,732,000
	2 売掛金	5,223,595		2 リース債務	1,269,684
	3 棚卸資産	302,592		3 買掛金	6,174
	4 前払費用	1,011,162		4 未払金	161,545,025
	5 未収入金	165,345,510		5 未払費用	808,492
	6 未収還付消費税等	146,370,484		6 前受金	9,141,410
	7 未収還付法人税等	802		7 短期借入金	0
				8 預り金	52,700
		9 未払法人税等	3,905,000		
		10 賞与引当金	1,199,102		
		11 未払消費税等	0		
	計	429,856,588		計	340,659,587
固 定 資 産	1 建物	1,119,508,977	固定 負債	1 リース債務	3,068,403
	2 建物附属設備	102,212,151		2 長期借入金	1,464,768,000
	3 構築物	16,284,817		計	1,467,836,403
	4 機械及び装置	2,167,548		負債合計	1,808,495,990
	5 工具器具備品	32,932,318		純資産の部	
	6 電話加入権	72,800	区分	科 目	金 額
	7 リース資産	4,016,770	株 主 資 本	1 資本金	490,000,000
	8 ソフトウェア	2,550,203		2 資本剰余金	540,000,000
	9 長期未収入金	1,464,750,000		3 繰越利益剰余金	335,856,182
				計	1,365,856,182
	計	2,744,495,584		純資産合計	1,365,856,182
	資産合計	3,174,352,172		負債・純資産合計	3,174,352,172

(2) 損益計算書 (自 平成 3 1 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 3 1 日)
 (単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		281,491,759
売 上 原 価		101,559
売 上 総 利 益		281,390,200
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		395,780,976
営 業 利 益		△114,390,776
営 業 外 収 益		4,902,872
受 取 利 息	4,649	
雑 収 入	4,898,223	
営 業 外 費 用		1,810,264
長 期 借 入 金 利 息	339,589	
短 期 借 入 金 利 息	1,470,675	
経 常 利 益		△111,298,168
特 別 利 益		1,627,500,000
特 別 損 失		1,604,029,395
税 引 前 当 期 純 利 益		△87,827,563
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,072,500
当 期 純 利 益		△88,900,063

令和元年度事業報告

富山国際会議場の管理運営と駐車場の運営を、二本柱として事業を展開してきた。

本年度は、令和2年1～2月の2か月間に向け、大規模改修工事を実施し、メインホールをはじめ、館内の空調や照明設備等を更新し、更なる利用者ニーズに対応可能な施設整備を図った。

富山国際会議場の運営については、コンベンション誘致等の営業活動をはじめ、施設利用のコーディネートスキルの向上等に努め、学会、講演会、諸会議など幅広い催事利用があったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、国際会議場利用率については、多目的会議室が75.0%、メインホールが55.9%、全体では前年度を5.7ポイント下回る64.3%となった。

駐車場の運営については78,333台の利用があり、会議場利用者はもとより、隣接するANAクラウンプラザホテル富山の利用者等にも広く利用された。

また、コンパクトデリトヤマの営業については、ケータリングの利用を積極的に働きかける等、売上向上に努めたが、大規模改修に伴う2ヶ月間の営業休止等により、前年度に対し、20.4%下回る14,463千円の売上収入となった。